

会議名	大甕・太田地区学校適正化に係る保護者懇談会（２日目）
日時	令和８年２月２１日（土） １０：３０ ～ １１：４５
場所	大甕生涯学習センター 大会議室
参加者（庁内）	教育委員会事務局長、学校教育課参事ほか
参加者（庁外）	大甕・太田地区保護者 １３世帯（オンライン参加者含む）

【説明・協議事項】

（１）大甕・太田地区学校適正化に係る市の方針などの説明

大甕・太田地区の学校適正化の方向性について、市が望ましいと考える、大甕小学校・太田小学校・原町第三中学校の組み合わせによる「施設一体型義務教育学校」及び通学区域外から通学を認める「小規模特認校制度」について説明。

（２）市の方針も踏まえた大甕・太田地区学校適正化に係る意見交換

（１）の内容も踏まえ、大甕・太田地区の学校適正化の方向性について意見交換。

①質疑応答

No	保護者からの意見	事務局からの回答
1	萱浜は学区としては原二中になるが、再編後は自動的にそちらの学校に入ることになるのか。	義務教育学校ということで、１から９年生までの学びを確保したいと考えていることから、原則としてはそのまま９年生まで上がってもらうことを想定している。ただし、それにあたっては、次の３つを検討する必要がある。 ①通学距離が延びることに伴う遠距離通学の支援の方法 ②希望する場合の原二中への区域外就学 ③魅力、特色ある学校づくり 義務教育設立の方向性が決まった際は、これらを具体的に検討していく。
2	開校後に転校という形で入ることは可能なのか。	小規模特認校制度を導入することから、募集定員の範囲内にはなるが、そちらでの対応が可能と考えている。また、学校再編が予定されている場合には、あらかじめその区域外就学というところに要件を事前に設定をさせていただいて、あらかじめ原三中に行っていただき、そのまま義務教育学校の方に移行できるような形の配慮を、他地区における学校再編の際に実施していたので、そのようなものを取り入れたい。

No	保護者からの意見	事務局からの回答
3	現在の原三中の校舎を使って義務教育学校にするとのことだが、9 学年入るくらいの余裕はあるのか。	1 年生から 9 年生まで、さらに特別支援教室等を入れるとなると、幾分か教室の不足が想定される場所である。そのため、必要に応じて増改築は必要であると考えており、そちらも検討していく。
4	小学生が三中まで通うのはかなりの距離で、特に徒歩の子は大変だと思うが、バス通学の検討はしているのか。また、その場合、部活で帰りがまちまちになり親の送り迎えの負担が懸念される。冬は街灯が少なく夜道が真っ暗になる心配もあるため、これらの通学問題を考えてほしい。	教育委員会としても通学距離が延びることは想定しており、それによる児童生徒及び保護者の負担についても検討していきたいと考えている。現在、通学距離が適正配置基準を超える場合、通学に要する経費を助成する制度やスクールバスの一部運行をしているような状況があるため、義務教育学校開設の方向性となった場合、協議会にて通学路やスクールバス等について協議検討させていただき、児童生徒及び保護者の負担が増えないように対応できればと考えている。
5	児童クラブはどこに併設されるのか。	児童の安全と利便性を最優先に継続できる体制を確保したいと考えており、可能な限り同じ施設内または隣接する施設に設置できるのが望ましいと考えているところであるが、具体的な設置場所等については、再編後の校舎配置等を踏まえ、担当の部局と進捗状況に応じて検討協議し、その結果を報告させていただく。
6	今後の検討として、ソフト面ハード面含めてかなり課題があると思うが、令和 12 年 4 月開校という目標を叶えるための条件があればお示しいただきたい。	他市の事例を参考に、施設の設計や工事に令和 8 年 7 月から令和 12 年 3 月までの期間を見込んでいるが、工事の規模によっては工期が延びる可能性もあると考えている。実際に設計等をしていく際は、基本方針を令和 8 年度中に策定し、そこから具体的な設計等が始まってくることから、令和 8 年度中に基本方針が策定されるかどうか、令和 12 年 4 月開校の一つの目安になると思っている。

No	保護者からの意見	事務局からの回答
7	校舎の改修の規模によると思うが、開校時期は延びるイメージで良いのか。小規模の改修ならそうはならないのか。	他市の事例では、検討開始から開校するまで2年くらいかかるのが平均となっており、今回お示ししているスケジュール感は、それよりは幅広に取っている。そのため、スケジュール通りに進めばお示しした期間で収まると思うが、実際工事を始めた際に、建物自体に大きく手を入れなければならないなどの場合は、開校時期が延びる可能性はある。
8	教室の数が不足することによる増改築では、開校時期が延びることはあるか。	ご意見の増改築については、普段の学校生活に影響が出ないよう別立てで工事が可能なため、あまり影響は出てこないと思うが、校舎内部の改修になると、長期休暇の期間に集中して改修を行う等のスケジュールの調整が必要となるため、令和12年4月に向けた整備ができなくなる可能性はある。
9	開校時期が早くなる可能性はあるのか。	施設の改修の規模によって、ある程度の期間が必要になってくる。予算取りやそれに合わせた工期の調整等が必要になるので、現時点では前倒しになるのは難しいと考えている。
10	原三中は、他の中学校に比べて部活動等の選択肢が少ないという差を感じており、問題だと捉えている。今回の話で中学校同士の差が改善され、選択肢が増えることに期待している。良い方向の話で進んでもらえればと思うが、特に部活動などにおける差がなくなるような検討を進めていただけるのかお伺いしたい。	部活動については、少子化により、大きな学校でも部活動の維持が難しくなっているのが現状で、国の方針である部活動の地域展開も踏まえ、現在、中学校の校長先生方と話し合いを進めている。今も実施している他の中学校と合同での部活動や地域クラブの活用等に加え、保護者の意向も踏まえながら、子供たちの思いや願いがかなうような部活動のあり方について知恵を絞って検討しているところである。そのため、こうしていきたいという具体的なお話はまだできないが、保護者の皆様のお知恵も借りながら良い方向を考えていきたいので、ご協力をお願いしたい。

【決定事項・今後の対応など】

いただいた意見については、検討協議会へ報告し、適正化の方向性検討の参考とする。